

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	ホームレス等試行雇用奨励金	事業開始年度	平成15年度	作成責任者		
担当部局庁	職業安定局	担当課室	雇用開発課就労支援室	就労支援室長		
会計区分	一般会計	上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ホームレスの就職活動においては、①住居が不安定であることに対する偏見や不安などから事業主が採用に抵抗感を持つ場合、②長らく職業生活から離れていたために職場のルールが守れなかったり、同僚との人間関係がうまくいかずに職場定着できない場合が多い。このようなことから、当制度の活用により、ホームレスに対する事業主の偏見や不安を除去するとともに、就労準備が十分整っていない者に対しては、職業生活への適応を促すことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ホームレス自立支援センター等に入所しているホームレスを職業安定所の紹介により試行的に雇用する事業主に対し、試行雇用対象者1人当たり月4万円(対象期間3か月以内)の奨励金を支給する。					
実施状況	【21年度】 ① 試行雇用開始者:69人 ② 試行雇用奨励金支給件数:43件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	16	15	12	10	10
	執行額	6	3	4		
	執行率	37.5%	20.0%	33.3%		
	総事業費(執行ベース)	6	3	4		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	試行雇用期間中、試行雇用が確実に実施されていることを確認するために、必要に応じて事業所訪問等を行っている。				
	見直しの余地	試行雇用のニーズを踏まえて、予算額の見直しを行っているが、試行雇用開始者数は一定程度存在するので、最低限の予算は必要である。				
予算チームの・所見率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 毎年度恒常的に不要が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。					
補記						

厚生労働省
4百万円



【予算示達】

A. 都道府県労働局
4百万円



事業主
4百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.都道府県労働局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
給付金	試行雇用奨励金の支給	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)